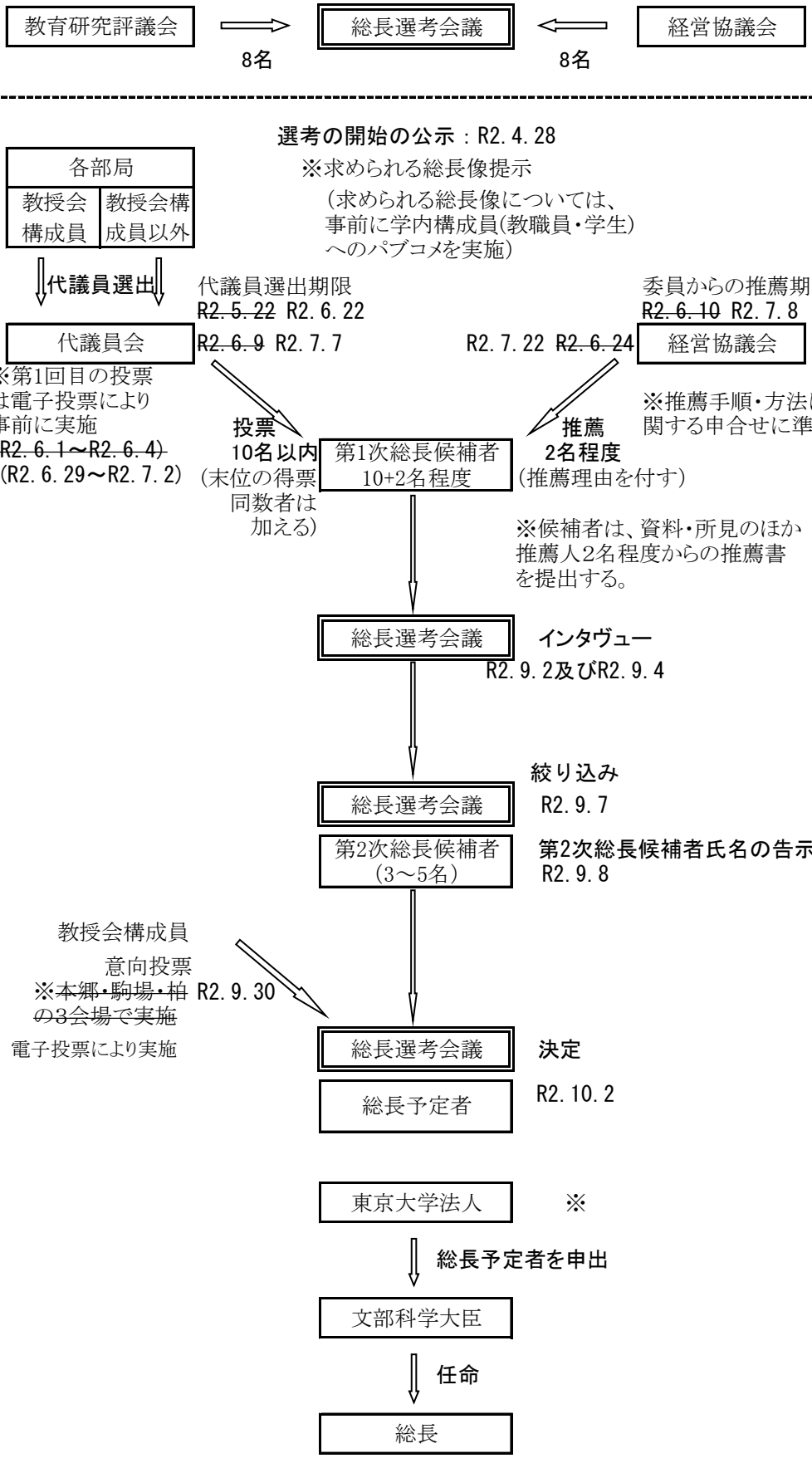
R2年度　東京大学総長選考プロセスのイメージ(流れ図)

※　総長選考に関する以下の日程は暫定的なものであり、新型コロナウイルス感染症の今後の状況により、変更の可能性があります。どうかご了承ください。~~変更の有無については5月中旬頃を目途に改めてお知らせする予定です。~~



部局教授会構成員選出の代議員(研究科、学部、研究所等各4名ずつ)及びそれ以外の教職員選出の代議員(各部局1名)の構成する代議員会が、第1次の総長候補者10名以内(末位の得票同数者は加える)に絞り込む。

経営協議会は、2名程度の第1次の総長候補者を推薦できる。

総長選考会議は、10+2名程度の第1次総長候補者につき、面接を含めた調査により、求められる総長像に照らして第2次の総長候補者(3～5名)を絞り込む。

教授、准教授及び教授会構成員である講師による意向投票を実施。

総長選考会議は、候補者への調査及び意向投票の結果を考慮し、総長予定者を決定。

※総長予定者が解任事由に該当する場合には、総長選考会議が総長予定者の決定を取り消し。